

## 生分解性マルチ比較試験結果検討会が開催されました

令和6年度～令和7年度にかけて、銚田市農業振興協議会（銚田市、JA茨城旭村、JAほこた、鹿行農林事務所）が主体となり、みどりの食料システム戦略緊急対策交付金（グリーンな栽培体系への転換サポート事業）を活用して、廃プラスチック削減や農作業省力化を目的として、カンショで使用している農ポリマルチから生分解性マルチへの転換に向けた実証試験を行いました。

令和8年1月29日（木）に、銚田合同庁舎にて、その試験結果に基づく検討会が開催され、当協議会及び生分解性マルチメーカー等、合わせて25名が参加して意見交換を行いました。

当部門からは、3試験圃場で供試した生分解性マルチの分解程度や、畝内土壌の地温・含水率、カンショの収量・品質などを説明し、実証農家からは生分解性マルチを使用した感想、生分解性マルチメーカーからは試験結果に対する意見などのコメントをいただきました。参加者からは、天候の違いによる生分解性マルチの分解速度への影響や、他地域における生分解性マルチの取り組み状況などの質問があり、活発な意見交換が行われました。

今後は、調査で得られた試験結果や今回の意見をもとに、銚田市内で生分解性マルチに関心を持つ生産者向けのマニュアルを作成する予定です。

当部門では、銚田市農業振興協議会の活動を支援していくとともに、カンショ生産者の農作業の省力化及び環境にやさしい農業の取り組み推進の支援を行っていきます。

## 銚田地域農業改良普及センター（成長産業）



検討会の様子